

取扱説明書



JQA-QM8678

スーパーフォグジェットー

SIH-60S

R01 2012/01



このたびはミスト加湿器をお買い上げいただき誠に
ありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、
性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、
いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

—目次—

安全に使用していただくために	1. 2. 3. 4
重要ラベル	5
各部の名称	6
仕様	7
運転準備	8. 9. 10
運転方法	11. 12. 13. 14
使用後の取り扱い	15
保守・点検について	16. 17. 18
定期点検項目	19
故障診断	20
電気回路図	21. 22
無料修理規定	23
わからない事や、故障したら	24
スーパーフォグジェットー保証書	25

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。

本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。



誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

- 本書中で  **危険**  **警告** が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。

注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

- なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので 必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。

したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものではありません。

本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。取扱店とよくご相談ください。

 **危険**

- ・ 本機は業務用であり、非常に高い圧力水を発生します。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- ・ 高圧水により、人体が負傷した場合、思わぬ事態になっている事が有りますので、早急に医学的処置を必ず行ってください。
- ・ 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や、設備から1m以上離して使用してください。
- ・ 本機のまわりに引火物を置かないで下さい。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- ・ 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- ・ 回転部分のカバー類を取り外したまま絶対に使用しないでください。
- ・ 運転中は回転部分に絶対に近づかないようにしてください。ファンなどの回転部分に手や身体、衣服などが巻込まれて、けがをするおそれがあります。
- ・ 本機のすべての部材は高圧力に耐える規格品を使用しておりますので、メーカー純正部品を使用してください。改造は絶対にしないでください。又、本機付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちに当社販売店まで相談してください。
- ・ 本機にはオゾン発生器が搭載されています。高電圧部品がありますので絶対に分解しないでください。

 **警告**

- ・ 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- ・ フォグノズル、吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続して下さい。
- ・ フォグノズルの前方1m以内に人が入らないようにしてください。
- ・ 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。

▲注意

- ・ 運転中は、本機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- ・ 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- ・ 衛生上、必ず水道水を使用してください。またゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- ・ 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- ・ 洗剤、化学薬品等は絶対に使用しないでください。
- ・ 本機使用の推奨温度は0℃～40℃までです。吸水温度は最高40℃までです。
- ・ 圧力は、出荷時に規定圧力に調整していますので圧力調整はしないでください。
- ・ 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯等で高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。むりに原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。
- ・ 空運転は絶対にしないでください。通常始動後約10秒程度で吸水をします。それ以上(最大20秒間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
- ・ 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- ・ 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合がある状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機が故障する原因となります。
- ・ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

▲注意

ファンの向きは手で無理に動かさないで、首振り運転をさせて変えてください。
無理に動かすと内部部品が破損する場合があります。

 **警告**

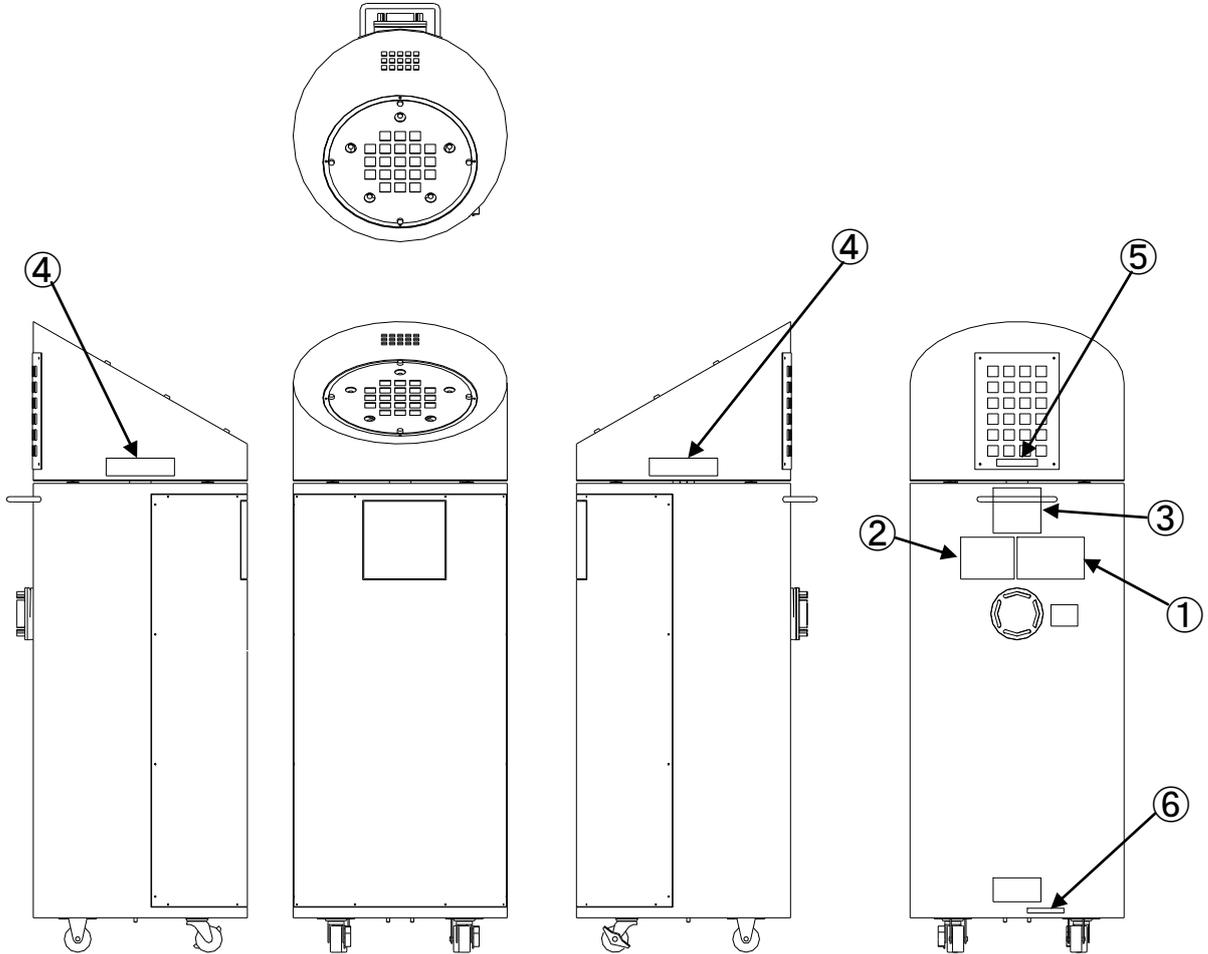
- ・必ずアース線（緑色又は黄/緑）を接地してください。（電気設備技術基準 第 18～28 条により接地工事を行ってください。）
- ・アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
- ・ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
- ・ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
- ・本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、濡れた手でさわらないでください。
- ・電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切 (OFF) にし、コンセントからプラグを抜いてから作業してください。
- ・エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
- ・昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
- ・運転中、および停止直後はモータ本体や、周辺が熱くなっていますから、手や肌が触れないようにしてください。
- ・専用の漏電遮断器を必ず取り付けてください。

 **注意**

- ・運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切 (OFF) にしてください。
- ・指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。

重要ラベル

- ・警告表示は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に張り直してください。
- ・安全名板の購入は、最寄りの販売店にお申し付けください。



①モーター式洗浄機 (04000922)

⚠ 危険		⚠ 警告		⚠ 注意	
感電に注意 雨の中での運転は点検・整備をする時は、必ず電源を切ってください。又本機に水をかけないでください。	感電に注意 運転中は本機のカバーを開けないでください。	感電に注意 必ずアース線を接続してください。	取説読明書 必ず取説読明書をお読みください。「危険」「警告」「注意」事項に従わないと重大事故の危険性あり。	運転禁止 運転中に本機が移動しない様に、車輪に歯止めをし、水平な場所に本機を設置してください。	空室運転禁止 無吸水での運転はしないでください。 更水注意 使用水は清水を使用してください。

②ミスト PL シール (04000928)

⚠ 警告		⚠ 注意	
取説読明書 必ず取説読明書をお読みください。「危険」「警告」「注意」事項に従わないと重大事故の危険性あり。	運転禁止 運転中に本機が移動しない様に、車輪に歯止めをし、水平な場所に本機を設置してください。	凍結防止 冬季など0℃以下になる場合は必ず水抜き作業を行い、凍結防止してください。	空室運転禁止 無吸水での運転はしないでください。 更水注意 使用水は清水を使用してください。

③危険吹き出し口から… (100320052)

危険 吹き出し口からオゾンが放出されま す。直接吸引しな いでください。	注意 横を向いてい るファンを正面に 向ける場合は 無理に動かさ ないで首振り 運転をさせても どして下さい
危険 使用中に気分が 悪くなった場合は 直ちに使用を中 止してください	注意 運転中は本機 から1m以内に 近づかないで ください。
危険 換気できない 場所で使用し ないでください	注意 本機が転倒 しないよう注意 してご使用くだ さい。
危険 乳幼児や不特定 多数の方の手の 届く場所で使用 しないでください	

④注意 横を向い… (04GB670093)

注意 横を向いているファンを正面に向ける場合は、無理に動かさないで首振り運転をさせて戻してください。
--

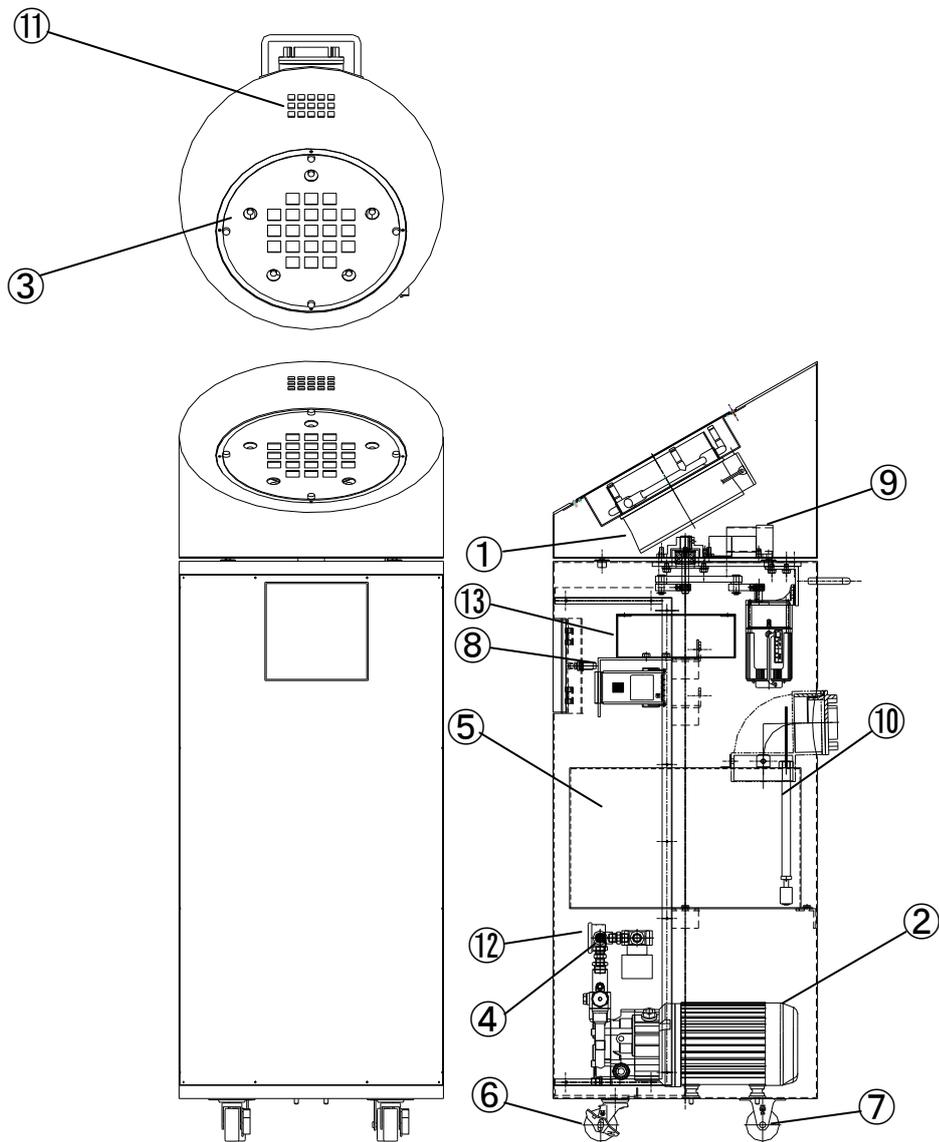
⑤危険 通電中は… (04000883)

危険 	通電中はこの部分に触れないでください。
---------------	---------------------

⑥注意 必ずアース線… (04000890)

注意 	必ずアース線を接続してください。
---------------	------------------

各部の名称



No.	名 称	No.	名 称
1	ファン	8	操作パネル
2	ポンプ+モータ (本体内)	9	オゾン発生器
3	フォグノズル	10	フロートスイッチ
4	高圧フィルタ (ワンタッチカプラ内)	11	湿度センサ
5	水タンク	12	圧力計
6	キャスタ (ストッパ付)	13	アワメータ (制御ボックス内)
7	キャスタ		

仕 様

名称	スーパーフォグジェッター
型式	SIH-60S (50Hz/60Hz)
圧力 Mpa (kgf/cm ²)	4.9 (50)
吸水量(L/min)	1.1/1.3 (50/60Hz)
ポンプ回転数 (min-1)	1450/1750 (50/60Hz)
電動機	全閉型 100V 単相 4P 出力 0.25kw
ファン最高回転数 (min-1)	1300/1600 (50/60Hz)
ファンモータ	解放型 100V 単相 4P 出力 0.03kw
寸法 W×H(mm)	400 (本体) × 1150
本機乾燥質量(kg)	60
標準装備品	水タンク (容量 : 20L) ※フロートスイッチ付き フォグノズル SUPERJ04 x 5 個 (フィルタ付) 高圧ラインフィルタ (7 個付属品) エア抜きチューブ (付属品) コントロールユニット (湯水停止装置、間欠運転装置、 ファンスピード 無段階制御) ※間欠運転は 4 モード プリセット式、①10 秒 on-20 秒 off②10 秒 on-30 秒 off③10 秒 on-40 秒 off④10 秒 on-60 秒 off
特記事項	屋内専用

運転準備

1. 移動

⚠危険

- ・ 本体を吊り上げないでください。
- ・ ヘッド部にロープを掛けしないでください。輸送の際など、ヘッド部にロープを掛けるとロープの張力や振動により破損する恐れがあります。
- ・ 荷台等に車載時は、梱包して、転倒防止の措置をして下さい。
そのまま車載すると転倒したり、風圧でファンが破損する恐れがあります。

⚠注意

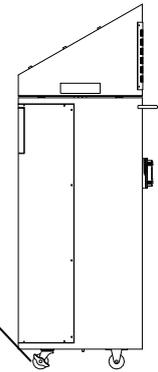
- ・ 移動、運搬時は水タンク内の水を抜いてください。バランスを崩す恐れがあります。
また、水タンクが破損する恐れがあります。

2. 設置

⚠警告

- ・ 設置する際は必ず平坦な場所に設置し、キャスタにストッパを掛け、車止めをしてください。
- ・ 屋内専用です。屋外では運転しないでください。
また、水が掛かった等の状態で運転しないでください。
- ・ 子供が本機に触れることがないように、また事故防止の為、無人運転の際は本機から半径 1m 以内の範囲に人が立ち入らないよう対策を講じてください。

キャスタ
(ストッパ)



⚠危険

- ・ 運転する場所に子供がいる場合は、ファン、ノズルに触れることがないように対策を講じてください。

⚠注意

- ・ 本機を通気の悪い場所に設置しないでください。
- ・ 本機にビニールカバー等を掛けたままでの運転はしないでください。

運転準備

3. ポンプ潤滑油漏れの点検

内面下部パネルを取り外し、オールドレンプラグ等ポンプ底部からのオイルの漏れ、にじみなどがなければ必ず点検してください。

※このポンプは構造上オイルレベルを確認することができませんのでオイル量の管理はオイル交換にて行います。

オイル交換の手順は16ページをごらんください。

高圧ポンプの潤滑油は100時間使用（初回は50時間）、又は90日ごとに交換してください。

オイルはSAE 10W-30（自動車用エンジンオイル）を使用してください。（容量約0.10L）



4. 水タンクへの給水

水タンクへ給水してください。



注意

必ず水道水にてご使用ください。本機より吐出された霧は人体に吸入されますので、水道水以外の水を噴霧すると、衛生上問題になるおそれがあります。

以下の水は使用しないでください。

- 例 本機タンクに長期間貯めた水
ローリータンク・バケツ等に貯めた水
川水
工業用水
海水
60℃以上の水
洗剤を含んだ水
化学薬品を含んだ水
油分を含んだ水
不凍液 など

定期的に本機タンクは清掃してください。

フォグノズルの穴は非常に細かいのでゴミ等を吸いますと、詰まりの原因となります。また故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながります。特に吐出ホースの脱着の際はゴミ等が入らないようご注意ください。

運転準備

5. 電源の接続



- ・キャブタイヤケーブルプラグを確実に電源に接続してください。
緑色のアース線をアースへ接続してください。
- ・電源には安全の為、ヒューズもしくはノーヒューズブレーカを使用し、必ず漏電ブレーカも設置してください。
- ・キャブタイヤは無理に引っ張ったり、巻いたり、踏みつけたりしないでください。
- ・通電部分（本体、キャブタイヤ、コンセント等）に高圧水流が掛からないようにしてください。
- ・濡れた手で通電部分を触らないでください。
- ・配線作業は、上位遮断機を切（OFF）にして電気が来てないことを確認して行ってください。
- ・配線は裸線での結束は絶対避けてください。

6. 発電機によるモータ始動



発電機によりモータを直入始動する際、容量に十分余力がないと、電圧ドロップを起し、電磁開閉器の焼損や回転数が低下し能力低下、モータの焼損を起します。
下記の発電機容量を目安として参考にしてください。

消費電力	周波数	参考容量
0.7kw	50Hz / 60Hz	2.6KVA 以上



細いキャブタイヤを使用しますと電圧ドロップが起こり、始動不能、回転数の低下などの重大な故障の原因につながりますので注意して下さい。（下記参照）

モータ出力	定格電流	標準付属の キャブタイヤ	延長する場合のキャブタイヤ [*] (延長コード長さ)
0.45kw	7A	3C 2.0mm ² x 2m	3C 3.5mm ² (30m 以内)

※電圧ドロップの影響がありますのでキャブタイヤ総延長はブレーカより33m以内にしてください。
(必ずしもコンセントからの距離とは限りません)

運転方法

1. ポンプの運転

1) 操作パネル



番号	名称	役割
①	ミスト噴霧 入/切スイッチ	運転を入/切させるスイッチです。
②	モードスイッチ	運転モードを変更するスイッチです。
③	オゾンスイッチ	ミスト噴霧入の場合のみオゾンが入/切出来ます。
④	首振りスイッチ	首振りを入/切するスイッチです。
⑤	湿度制御スイッチ	湿度制御の値を設定するスイッチです。
⑥	電源ランプ	電源投入時に点灯します。
⑦	渴水ランプ	渴水前（残 1L）で点滅、渴水時に点灯します。
⑧	ファンスピード調整ダイヤル	ファンスピード（回転数）が調整できます。

2. 運転方法

(1) ミスト噴霧

ミスト噴霧 入/切スイッチを押して、運転を開始してください。

(2) 間欠運転設定

連続運転から間欠運転への変更方法は、モードスイッチを押すことによって変更することが出来ます。いずれかに合わせて運転してください。

表示	連続	20	30	40	60
ミスト噴霧時間	連続運転	10 秒	10 秒	10 秒	10 秒
ミスト停止時間		20 秒	30 秒	40 秒	60 秒

運転方法

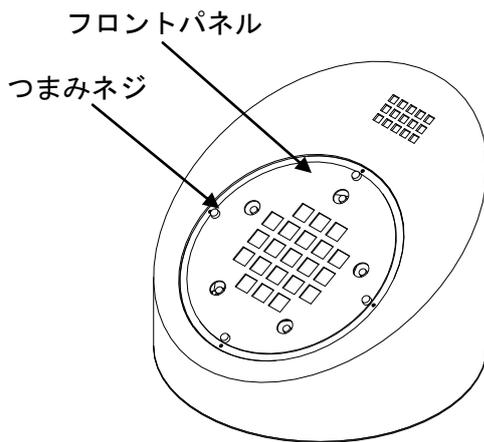
(3) エア抜き方法

(初回や水抜き後の使用、ミストが出にくくなった際、湯水で停止した際等のポンプがエアを吸っている状態の時に行う必要があります)

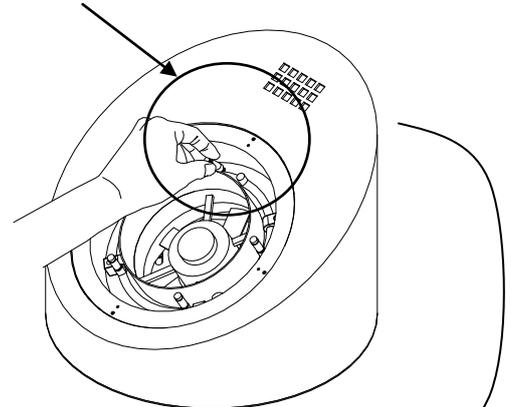
- ① フロントパネルのつまみネジを4本はずします (工具不要)
- ② フロントパネルを外します
- ③ 制御BOX部のスイッチをエア抜きにします。
- ④ フォグノズルを外します。(1か所)
- ⑤ 付属のエア抜き用チューブをつけミスト噴霧を入にします。
(ゆるみのない様に取り付けてください)
- ⑥ 約1分ほど水が出てきたらミスト噴霧入/切スイッチを押してポンプモータを停止してください。(水タンク内の水量によってはもう少し時間がかかります)
- ⑦ フォグノズルを付けます。
- ⑧ 制御BOX部のスイッチを通常運転にします。
- ⑨ ミスト噴霧入/切スイッチを押して運転してください。

⚠ 注意

- ・ エア抜きが不完全な場合はノズルからの噴射が弱い場合や湯水停止する場合があります。その場合は何度かミスト噴霧を入・切する、またはエア抜きをしてください。
- ・ 特にシーズンイン時(長期保管後、初めて運転する際)は、配管系統のゴミを出す目的で必ずエア抜きをしてください。
- ・ 圧力は規定圧力(4.9MPa)まで上昇しますのでそれ以上に圧力を上げないでください。



フォグノズルを外し、
エア抜きチューブを付けます(1か所)



エア抜きチューブの先端は
給水口よりタンク内に挿入してください

運転方法

3. 湯水停止装置

水タンクが空になると、モータが停止します。このとき、湯水停止ランプ（赤色）が点灯します。ミスト噴霧入/切スイッチを押して回路を停止させた後、給水口から水道水を供給してください。ミスト噴霧入/切スイッチを押すと運転を再開します。

（水タンクが残り1Lになると、湯水停止ランプ（赤色）が点滅します。この時水を補給して頂ければ停止させずに運転を続けることができます。）

4. ファンの運転

ファンの運転はミスト噴霧時モード入の時のみ運転します。

ファンのスピードはファンスピード調整ダイヤルで変えることができます。

ファンスピード調整ダイヤル：時計回りに（停止）→（低速）→（中速）→（高速）の順で無段階変化します。

⚠危険

- ・ 正面、背面グリルの中へ指を入れしないでください。また正面、背面グリルを外して運転しないでください。回転する羽根部でケガをする恐れがあります。
- ・ 運転する場所に子供がいる場合は、ファン、ノズルに触れることがないように対策を講じてください。
- ・ 屋内専用です。屋外では運転しないでください。また水が掛かった等の状態で運転しないでください。漏電、感電の恐れがあります。

5. 湿度設定の方法

(1) 湿度スイッチ

湿度調節を任意で設定し、センサ部が設定未満の湿度になった時に運転し、設定以上の湿度になった時に停止します。工場出荷時は60%に設定しています。

上部赤色の数値が現在の値、下部緑色の数値が設定値です。🔄を押すと設定モードに入り△▽ボタンで設定値を変更できます。再度🔄を押すと通常モードに戻ります。



現在値

設定値

運転方法

6. オゾンの運転

ミスト噴霧入の場合にのみオゾンが運転できます。ミスト噴霧入にしてからオゾンスイッチを押してください。

危険

- ・オゾン発生器は高電圧部品がありますので、絶対に分解しないでください。

7. 首振りの運転

首振り入/切スイッチを押すことで首振り運転を行えます。

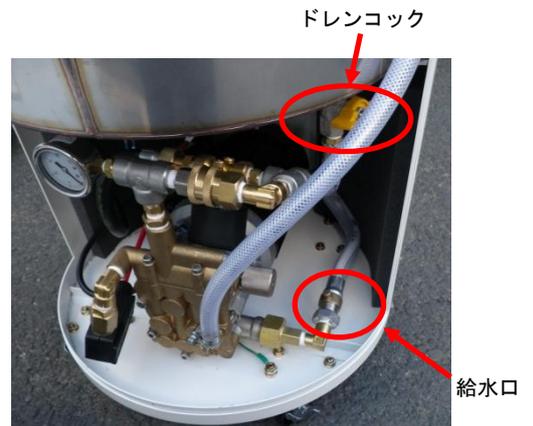
注意

ファンの向きは手で無理に動かさないで、首振り運転をさせて変えてください。
無理に動かすと内部部品が破損する場合があります。

使用後の取扱い

1. 使用後の取扱

- (1) 停止時はミスト噴霧入/切を押すと、噴射が止まります。
- (2) 水タンクから水を抜いてください。
水タンク底部にあるドレンコックを一度締めて
給水口のホース金具を外すし、機外にホースを向け
ドレンコックを開けて水抜きができます。



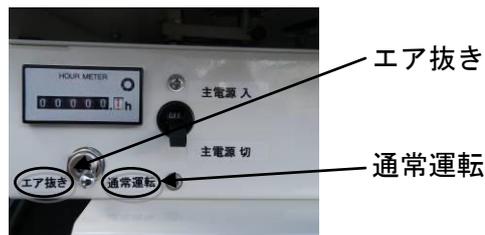
警告

- ・屋内で保管してください。
本機が水で濡れたまま使用すると漏電、感電の恐れがあります。

注意

- ・カビや雑菌が繁殖しないよう水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、
内部は常に清潔を保つように定期的に掃除してください。

- (3) 使用後の保管場所が凍結の恐れのある場合、必ず以下の手順で水抜きをしてください。
 - ①水タンクから水を抜いてください。
 - ②制御BOXのスイッチをエア抜きにします。ミスト噴霧入/切スイッチを押してください。
 - ③モータが駆動し、水抜きを開始します。水抜きは20秒以内で終了します。
 - ④本機からミストが出なくなったらミスト噴霧入/切スイッチを押してください。※長時間の空運転は高圧ポンプの故障の原因となります。



2. 寒冷地での保管

- (1) 気温が0°C以下の場合は原則として使用しないでください。凍結によりポンプが損傷します。
- (2) 使用後の保管場所が凍結の恐れのある場合、必ず水抜きをしてください。

注意

- ・ホースを含む本機の水経路内に凍結が発生したまま運転しますと、必ず損傷しますので
充分注意してください。

保守・点検について

警告

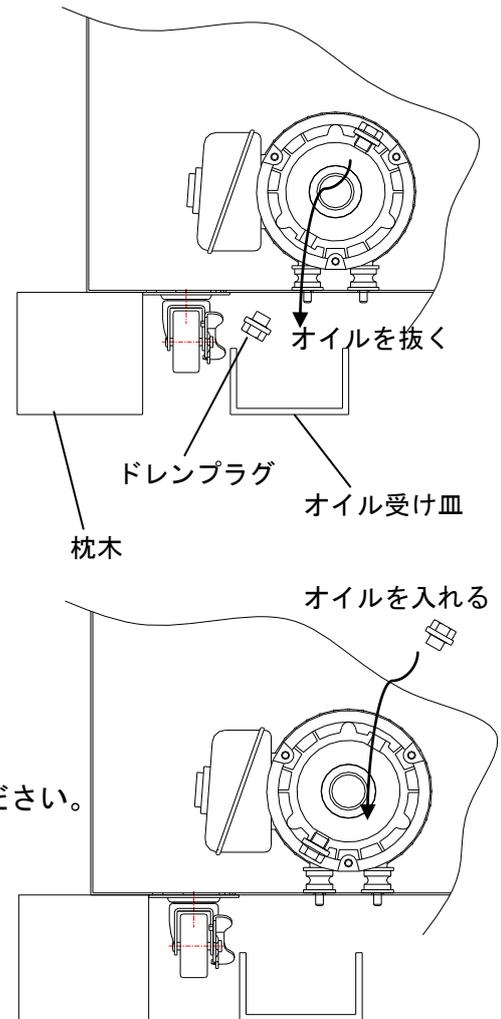
- ・本機の保守・点検を行う場合は本機のスイッチを「切」にしてさらにコンセントからプラグを抜いてから作業を行ってください。

1. 高圧ポンプのオイル交換

注意

- ・高圧ポンプの潤滑油は 100 時間使用（初回は 50 時間）、又は 90 日ごとに交換してください。
- ・オイル交換後、オールドレンプラグ等ポンプ底部からのオイルの漏れ、にじみなどが無いかな必ず点検してください。
- ・オイル交換時に、枕木で作業スペースを確保しますが転倒がないように注意してください。

- (1) 本機内部の前面パネルを外します
- (2) 本機を枕木に乗せて作業スペースを確保します。
- (3) 本機底に穴がありますのでその穴よりオイル交換を行います。
- (3) オールドレンプラグを 17mm のメガネレンチで外して、オイルを抜いて下さい。
- (4) オールドレンプラグをメガネレンチで締め付けてください。（締め付けトルク：約 5N-m）
- (5) 上部のプラグを緩めエンジンオイル SAE 10W-30（自動車用エンジンオイル）（容量：約 0.10L）を計量して入れてください。
- (6) プラグをメガネレンチで締め付けてください。（締め付けトルク：約 5N-m）



2. 電装関係の点検

- (1) キャブタイヤコード、コンセント、本機制御ボックス内の端子に緩みがないか点検してください。
- (2) モータ、電磁開閉器、コンセントなどが水にぬれた場合、十分に乾燥させ絶縁抵抗をチェックしてください。
- (3) モータが吸湿してそうなときは絶縁抵抗が規定値以上あるかどうかチェックしてください。500V メガテスタにて 1 分間 40°C において 1MΩ 以上必要です。

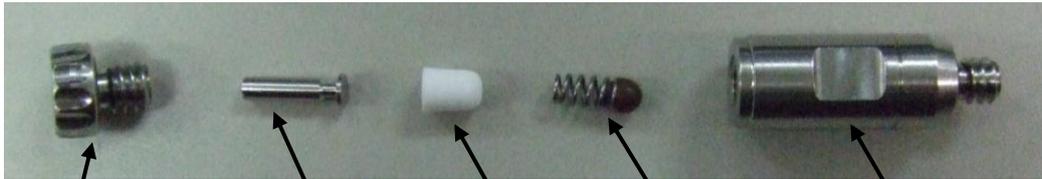
保守・点検について

3. 配管・付属品の点検

⚠ 注意

・高圧ホース、キャブタイヤコード、吸水ホース、フォグノズル、吐出ホースなどに摩耗、破損、水漏れがないか点検してください。異常がある場合は、ただちに修理、交換してください。

4. フォグノズルの清掃



ノズルヘッド

ノズルピン

フィルタ

逆止弁

ノズルボディ

(1) フォグの噴霧パターンが異常な（円すい状に出ない、均一に出ない）場合

(2) 霧が全く吐出されない場合

は、フォグノズル内のゴミ詰まりが考えられますので、フォグノズルを清掃してください。

(3) フォグノズルは上の写真のように分解できます。

ノズルヘッドの穴とノズルピンの先端をエアもしくはパーツクリーナで清掃し、元通り組み付けてください。

⚠ 警告

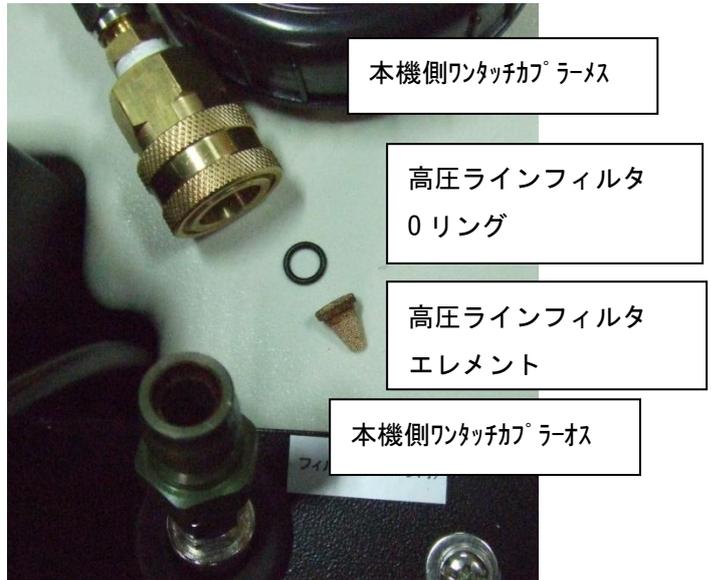
・フォグノズル組付け時に必ずノズルピンを忘れずにノズルヘッドに挿入してください。ノズルピンを忘れた場合、運転時に高圧ホース水が直射されますので、直射水が人体に当たった場合、ケガをする恐れがあります。

(4) 本機停止時に特定のノズル先端から常に水がたれる場合は、そのノズルの逆止弁を清掃してください。フォグノズルを清掃しても症状が改善されない場合は、フォグノズルを交換してください。

保守・点検について

5. 高圧ラインフィルタの清掃

- (1) 霧が全く吐出されない場合、
または 150h ごとに、高圧ライン
フィルタを分解、エレメントを清掃
してください。
清掃しても症状が改善されない場合は
付属しています高圧ラインフィルタ
エレメントを交換してください

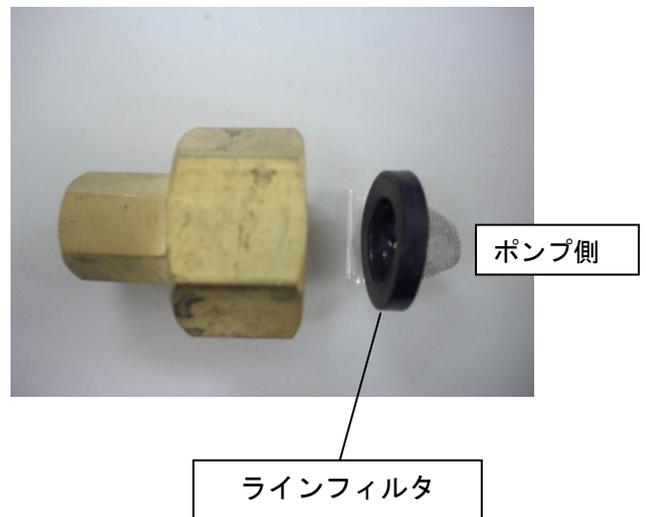


6. ポンプ吸水ラインストレーナ点検

- (1) ポンプ吸水口ラインストレーナ清掃
- ①月に1回程度、ラインストレーナの清掃を行ってください。
 - ②ラインフィルタの位置はポンプ吸水口です。



この金具内にラインフィ
ルタが入っています。



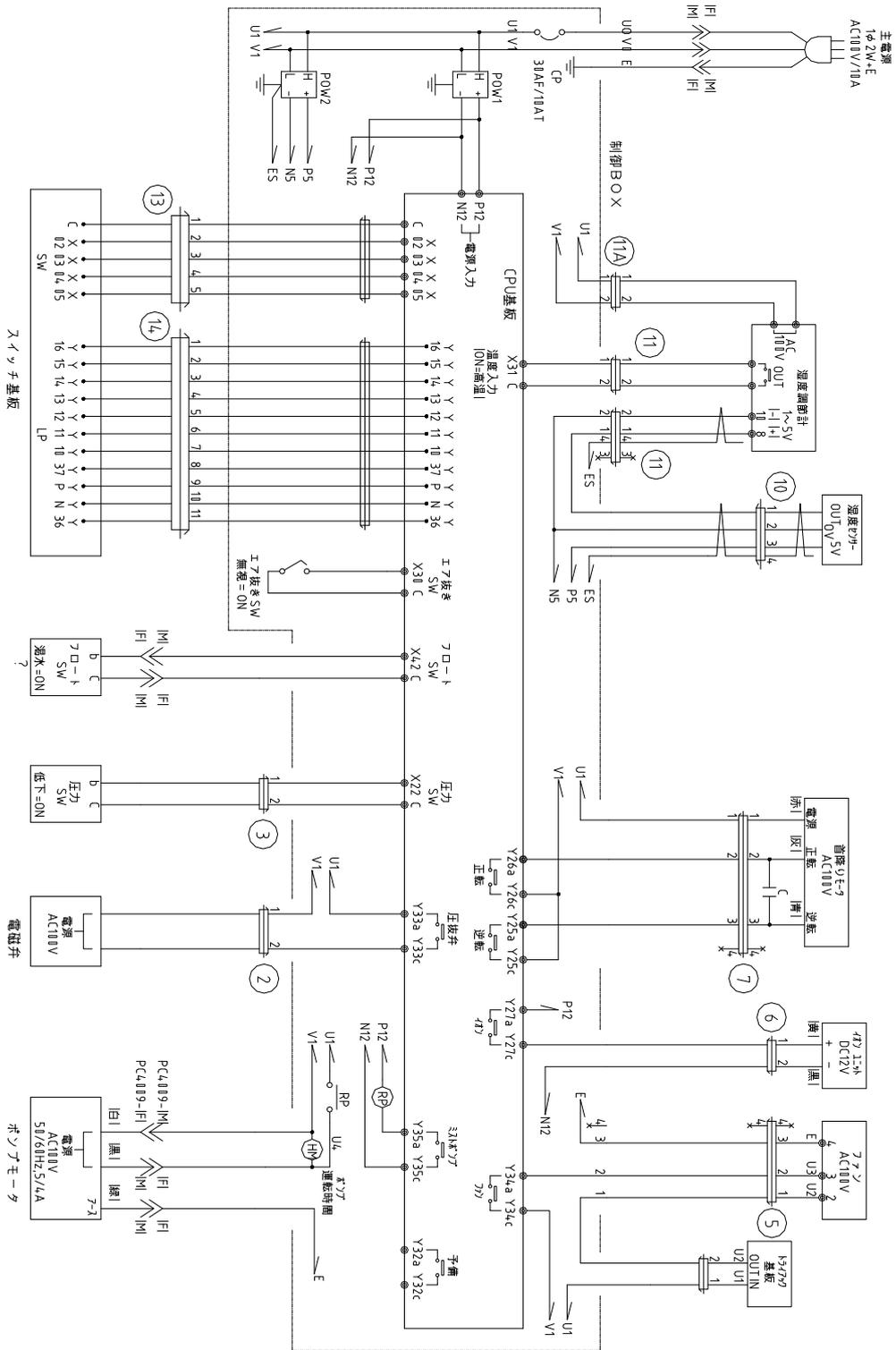
定期点検項目

点検項目	時間（各時間ごとに実施）				
	作業前	50h	100h	150h	300h
【機体】					
各部の締付点検	○				
各部の水もれ点検	○				
各部のオイルもれ点検	○				
異常音、異常振動の点検	○				
ベースとカバー等の損傷、変形の点検	○				
重要ラベル（PL）の剥がれ、汚れ、破れの点検	○				
【ホース】					
給水ホースおよびパッキンの点検	○				
ストレーナ、ラインフィルタ、ラインストレーナの点検・清掃	○				
高圧ホース、カプラおよびパッキンの点検	○				
フォグノズル、フォグチューブの水もれ点検	○				
【配線】					
配線外被の損傷点検	○				
配線結束状態の点検	○				
配線端子のゆるみ点検	○				
【配管】					
中間ホースの点検	○				
アンローダの点検・清掃					●
【高圧ポンプ】					
オイルの点検	○				
オイルの交換		○ <small>（初回のみ）</small>	○		
高圧ラインフィルタの清掃				○	
バルブの点検					●
シールの交換					●
プランジャーの点検					●
【モータ】					
絶縁抵抗の測定					●
* 点検の際は必ずスイッチを切（停止）にして、さらに一次側電源を切ってください。					
* 上記の時間は点検の目安であり耐久時間を示したものではありません。					
* 使用条件によっては表記時間より早期の点検が必要となる場合があります。					
* ●は技術や専用の工具を必要としますので、お買い上げ販売店にお申しつけください。					

故障診断

症 状	原 因	対 策
フォグノズルから霧が出ない。	フォグノズルのつまり	フォグノズルの清掃
	フォグチューブ内のエア噛み	エア抜きをする。
	水道水が供給されていない。	水道の元栓を開く。
	ポンプ内のバルブのこう着。又はゴミが詰っている。	ポンプに水道水を直結してテスト。バルブの清掃・交換。
	ポンプが空気を吸っている。	吸水口のホースジョイントの増し締め。 又はOリングの点検・交換。
	ラインストレーナの目詰まり。	ラインストレーナの清掃。
	高圧ラインフィルタの目詰まり。	高圧ラインフィルタの清掃。
	ポンプ内のシール・パッキンの磨耗、損傷	シール・パッキンの交換。
フォグノズルからの吐出が霧にならない。	ポンプが空気を吸っている。	吸水口のホースジョイントの増し締め。 又はOリングの点検・交換。
	ポンプ内のバルブのこう着。又はゴミが詰っている。	バルブの清掃・交換。
	フォグノズルの磨耗。	フォグノズルの交換。
	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)からの圧力漏れ。	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)の分解整備。パイプスニップル・ローピストの交換。
	高圧電磁弁にゴミが詰まっている。	高圧電磁弁の分解整備
フォグノズルの霧が安定しない。	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)のゴミ詰り。磨耗。	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)の分解整備。必要に応じて部品の交換。
	高圧ラインフィルタの目詰まり。	高圧ラインフィルタの清掃。
	ポンプ内のバルブの磨耗。	バルブの交換。
	ポンプ内のシール・パッキンの磨耗、損傷	シール・パッキンの交換。
モータが回らない。	濁水停止装置が働いた。	濁水停止ランプが点灯しているか確認。給水し、その後再起動する。
	・電源の不良。 ・サーマルリレーが入っている。	・電源を入れてください。(単相,100V) ・発電機の使用等で電圧降下を起こすと起動不良をおこします。又キャブタイヤコード延長等で電圧降下が起きると起動不良を起こします。 ・通気の悪い場所での長時間運転をさけてください。

電気回路図



サーマルリレー復帰方法（保護装置）

サーマルリレーは異常に圧力が上昇しポンプが過負荷になった場合や、電源に異常がある場合などで保護装置として作動します。

3分ほどで温度下がりますので作動原因を取り除き、ボタンが飛び出している場合押しして復帰させてください。



この奥にボタンがあります



ボタン

無料修理規定

1. 保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。（以下この無償修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不都合部品は弊社の所有となります。

2. 保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内または使用時間が500時間に達するまでといたします。

3. 保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

- ① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。
- ② 弊社が示す使用の限度を越える使用。
- ③ 弊社が認めていない改造又は変更。
- ④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。
- ⑤ 経時変化による自然変色発錆。
- ⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)
- ⑦ 天災・地変による損傷。
- ⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。
- ⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。
- ② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。
- ③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品。

<ご注意>

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。

※アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被曝したおそれのある環境で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害するおそれがあるため、修理はお受けできません。

わからない事や、故障したら

- ご使用のスーパーフォグジェットターについてわからない事や故障が生じた時に、次の事を確認の上、販売店又は、弊社までお問い合わせください。

- (1) 型式名と機番
- (2) ご使用状況（どんな時に）
- (3) ご使用時間
- (4) 故障状況（水を吸わない、圧力が上がらない、モーターが始動しない等）

スーパーフォグジェットー 保証書

このたびはスーパーフォグジェットーをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容（23 ページ記載）で保証いたします。なお、この保証書は
日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番	SIH-60S
保証期間	製品引渡し日より起算し1年間または使用時間が500時間に達するまで
納入年月日	平成 年 月 日
お客様	ご住所
	お名前
	電話番号
納入店名	住所・店名
	電話 ()



スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所 大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 3-7
〒566-0052 TEL (072) 653-2721 FAX (072) 653-2354

大阪工場 大阪府摂津市鳥飼本町 2 丁目 2-48
〒566-0052 TEL (072) 654-3990 FAX (072) 653-2912

東京営業所 東京都江戸川区中央 4 丁目 15-13
〒132-0021 TEL (03) 3653-2411 FAX (03) 3653-2420

名古屋営業所 愛知県名古屋市緑区野末町 208
〒458-0915 TEL (052) 626-3701 FAX (052) 626-3702

札幌営業所 札幌市白石区菊水 7 条 1 丁目 1-24
〒003-0807 TEL (011) 823-3661 FAX (011) 823-3666

福岡営業所 福岡県粕屋郡志免町大字別府 599-3
〒811-2205 TEL (092) 622-6273 FAX (092) 622-6279

サービス工場 大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 1-7
〒566-0052 TEL (072) 653-2721 FAX (072) 653-2354

沖縄駐在所 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-18-3
〒903-0812 TEL (098) 887-0089 FAX (098) 887-0089

<http://www.super-ace.co.jp> E-mail: info@super-ace.co.jp